

とりなし者の奇跡の祈り

(燃える柴の会カトリック・カリスマ宣教とりなし者の会 愛の泉 By Sr. Stephen)

“希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。” (ローマ5:5)

“聖霊、来てください。聖霊、来てください。” 今このひととき、聖霊が来てくださり、今すぐ、わたしたちを神の聖なる愛と全ての神の賜物で満たしてくださるように歌い、そして祈りましょう。

今、聖霊がわたしたちの心を神の聖なる愛でさらに満たしてくださっているのです、わたしたちはこの愛をわたしたちだけのために留めておくことができません。そこで、先ず、わたしたちはこの愛を天の御父にお返しするのです。全能の父は、ずっとわたしたちを心から愛してくださっています。わたしたちはこの御父の愛を特に主イエス・キリストのうちに見出すのです。それでは、わたしたちの天の御父への愛の奉献をご一緒に新たにしましょう。

祈りましょう。

“天のお父さん、わたしを心から愛してくださり、特にわたしたちの主イエス・キリストを通して愛して下さいありがとうございます。わたしもあなたを心から愛します。また、今日、あなたを愛さない全ての人々のために、その償いとしてもあなたを愛します。”

わたしたちは、しばらく、こころを一つにして天の御父へ愛を込めて歌い、祈ります。そして、わたしたちは人びとの代わりに、特に、神を愛さない人びとの償いとして、その人々の分まで、もっと御父を愛します。わたしたちは御父を愛さない人びとの償いとして、わたしたちの手の中にその方たちを包んで御父に掲げるのです。“アッパ、父よ、心からあなたを愛します”

今、わたしたちはここで共に主イエスへの愛の奉献を新たにしましょう。

祈りましょう。

“主イエスよ、わたしを全身全霊で愛してくださってありがとうございます。あなたはわたしのために尊い御血を流し、十字架上で死んでくださいました。こころから感謝します。あなたの聖なる十字架によってわたしのすべての罪を赦してくださってありがとうございます。”

“主イエスよ、今すぐ、わたしの心にもっと深く入ってください。あなたの聖なる愛と聖なる命でもっとわたしを満たしてください。どうか、わたしのすべての罪をお赦してください。特に、いつも“あなたの協力者”でなかったことをお赦してください。あなたが、わたしに何をしてもらいたいのか先ずあなたのもとに聴きに帰るべきでした。祈るときでさえそうでした。主イエスよ、わたしはあなたにここから従いたいのです。主よ、わたしを癒してください。あなたの聖霊とあなたの聖なる愛で溢れるほど満たしてください。わたしの中にあなたの命が溢れますように。”

“聖霊、来てください。あなたの聖なる愛でもっと満たしてください。わたしが全生涯を通して主と一致していくことができますように。わたしの全生涯をあなたに委ねます。わたしの考え方も、わたしのやり方も、わたしの祈り方も、あなたに委ねます。わたしはこの世のやり方をすべて退けます。わたしはすべての罪を退けます。わたしはサタンとそのすべての悪と、そのすべての悪霊を退けます。”

“主イエスよ、わたしはあなたを選び取りました。わたしはあなたのなさり方を選び取りました。聖霊、来てください。わたしをあなたの聖なる愛でもっと満たしてください。イエスをわたしの全生涯の主としてください。わたしの祈りの主としてください。あなたのすべての賜物をわたしの中で解き放ってください。主イエスが人を愛したように、わたしも他の人びとを愛することが出来るよう助けてください。どう祈るべきか教えてください。イエスに従う者としてください。イエスに忠実な者としてください。そうすればわたしは神の家族の中で永遠に生きることが出来るのです。アーメン。”

しばらく、イエスに愛の歌を歌い、祈りをささげましょう。祈りながら、主イエスが復活の後、どのようにトマスに現れたかを思い起こしましょう。

イエスは言われました。“見よ、トマスよ。これがわたしの手と足とわき腹にある傷だ。指を差し入れなさい、もう疑わず、信じる者になりなさい。”

この同じイエスが、今ここに、わたしたちと共におられます。祈るときに、目を閉じ、トマスが見たように、イエスを見てください。指を伸ばし、その指を今ここにいるイエスの傷口に差し入れなさい。主は、愛と慈しみと、癒しと、奇跡を与えつつ、その尊い御血と水であなたを洗ってくださいるでしょう。それから、わたしたちの愛する人びとをイエスに向かって掲げましょう。その人びとをイエスの聖心の中に置きましょう。そうすれば、イエスの尊い御血と水が恵みと奇跡を与えつつ、彼らを洗ってくださいるでしょう。

さあ、歌い、そして、祈りましょう。

“尊いイエスよ、わたしはどれほどあなたを愛していることでしょうか！” アーメン